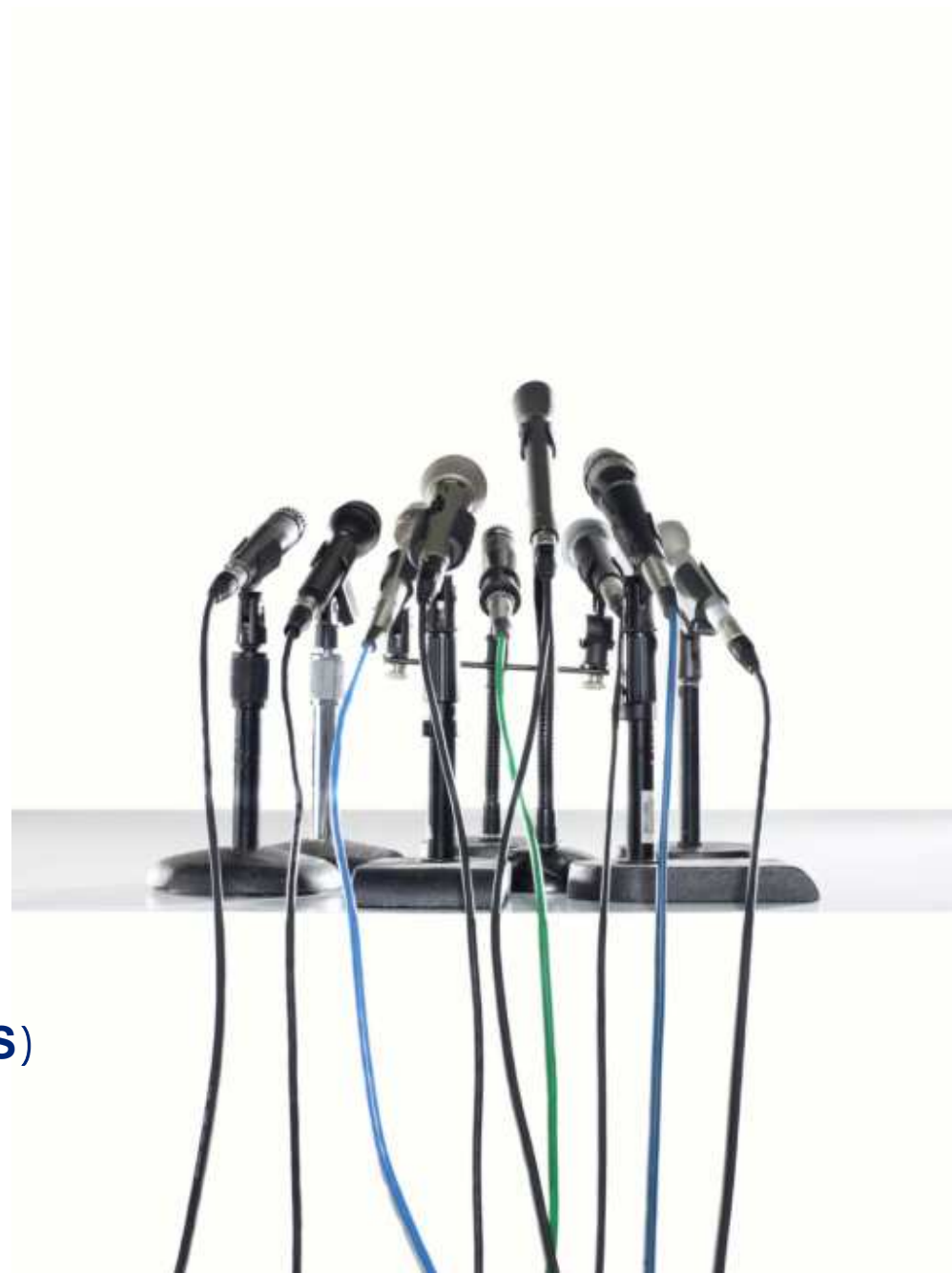


説明資料

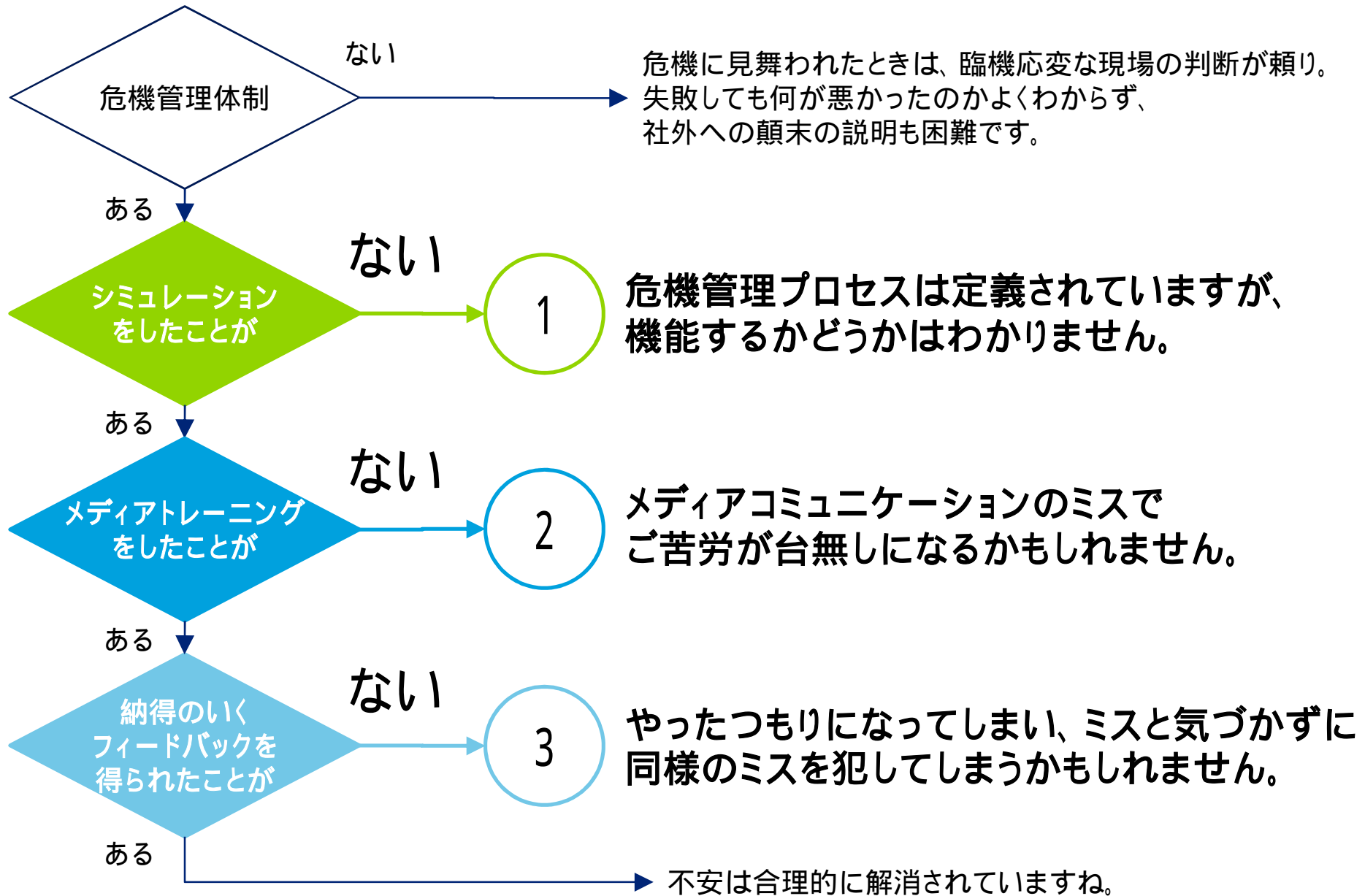
クライシストレーニング

www.tohmatsu.com/ct

デロイトトーマツリスクサービス株式会社(DTRS)
2011年



危機管理に不安はありませんか



、 と の不安を一度に解消できる訓練はないだろうか……

トーマツクライシストレーニングで不安解消

机上のシミュレーションとメディアトレーニングの同時実施で、より効果を高めます。

現場や経営者の不安

クライシストレーニング



：危機管理プロセスは定義されていますが、機能するかどうかはわかりません。

- ・今の規程やマニュアルが機能するのか不安
- ・現場は急場の適応力を過信していないだろうか
- ・すばやく正確にエスカレーションできるのか

シナリオ作成

リアルなシナリオを作成するために、貴社の業務や組織を丁寧に調べます。その過程で危機管理プロセスの問題点を洗い出します。



：メディアコミュニケーションのミスで、ご苦労が台無しになるかもしれません。

：やったつもりになってしまい、ミスと気づかずに同様のミスを犯してしまうかもしれません。

- ・いざというときの意思決定は難しい
- ・役員の過半が交代したメディア対応未経験者が多数だ
- ・不祥事でのメディア対応はまったく経験がない
- ・フィードバックに満足できない

シミュレーション

リアルなシナリオに基づく、現実さながらのケースで意思決定を予行できます。

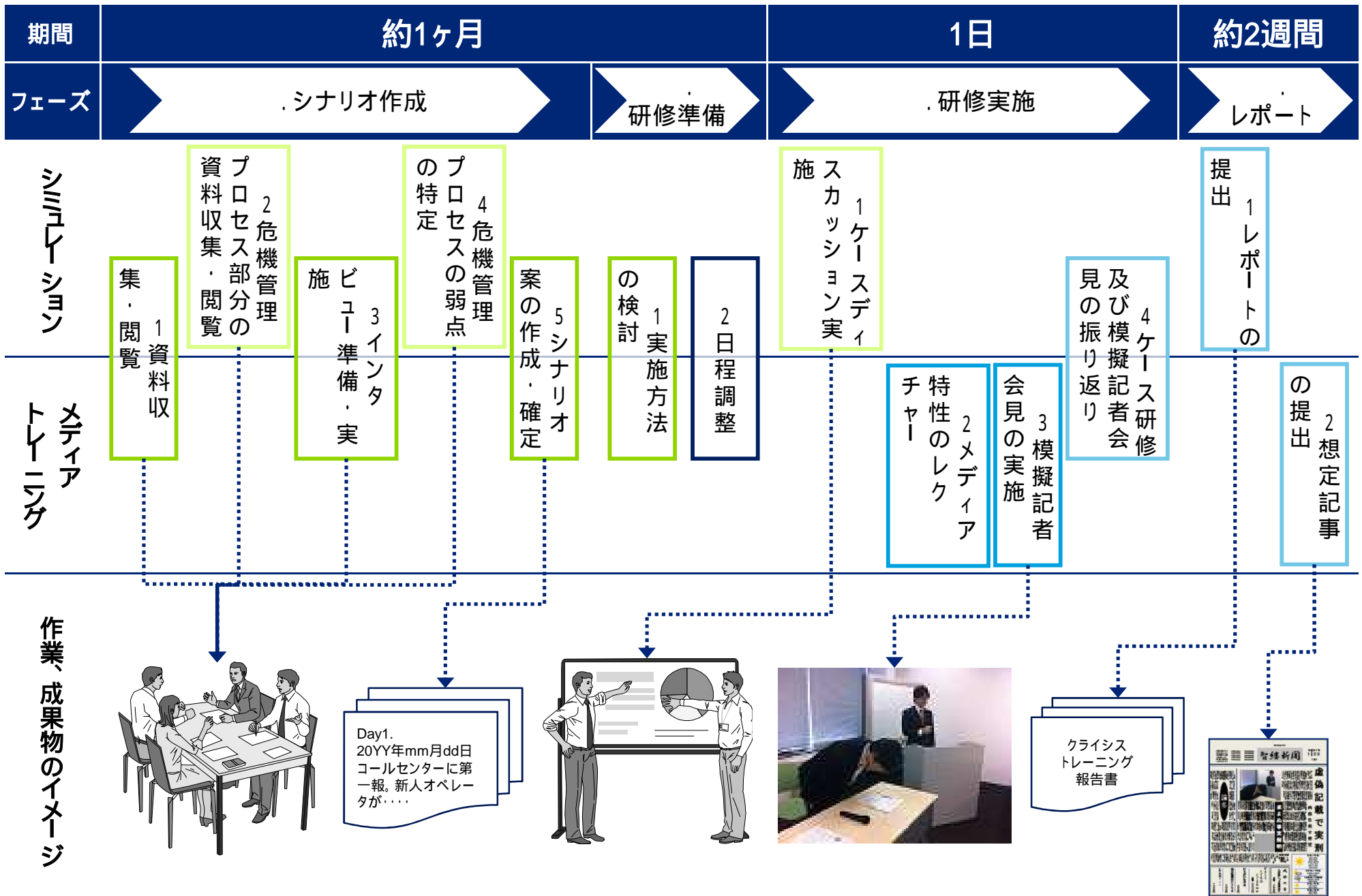
メディアトレーニング

リアルなシナリオで設定されたケースについての議論を事前に行ったうえで、ケースを共有したメディア役が厳しく追及する模擬記者会見を実施します。

レビュー、フィードバック

実際の新聞紙面を想定した模擬記事、トレーニングを総評したレポートのご報告。

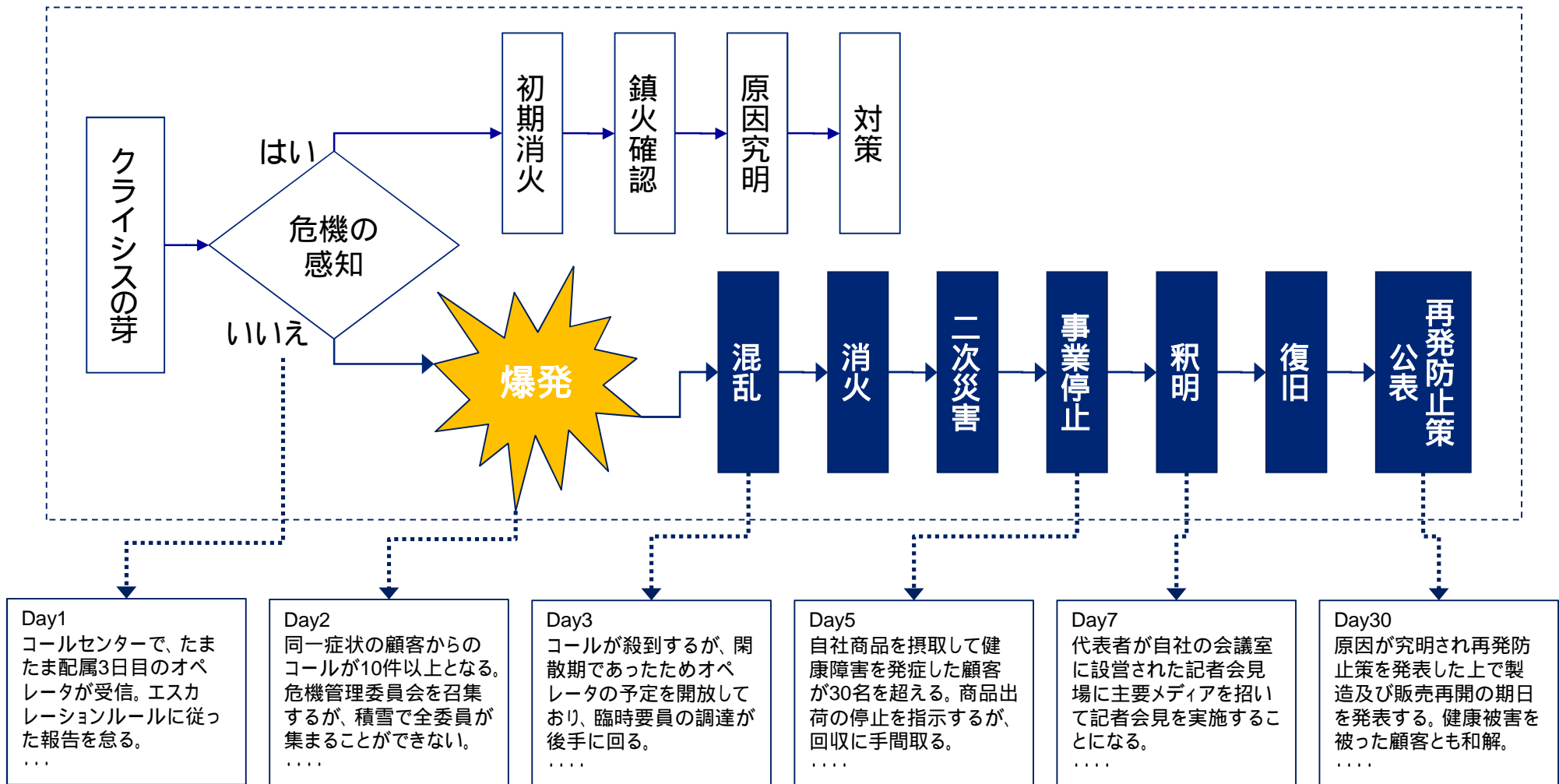
サービスの進め方



フェーズ -5. シナリオ作成 で作るシナリオのイメージ

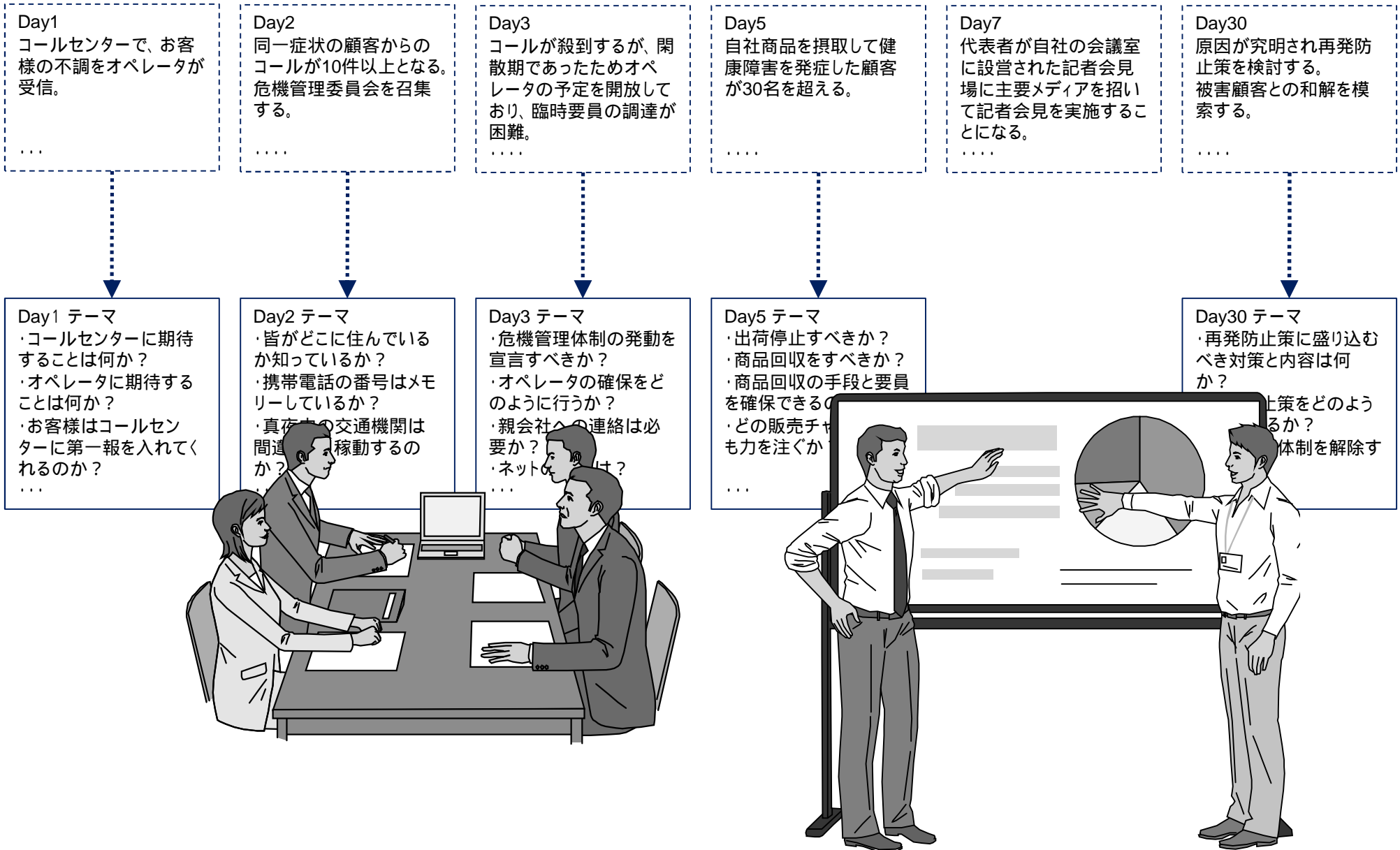
危機管理プロセスの弱点を突くリアルなシナリオによってクライシスを疑似体験できます。

貴社の事務局を支援して、危機管理プロセスを調査し、その弱点を突くようなリアルでオリジナルなシナリオを作成いたします。具体例としては、以下の図の下の経路(着色部分)を辿ってしまったストーリーが考えられます。



フェーズ -1. ケースディスカッションのイメージ

貴社の危機管理委員会メンバーをグルーピングして、意思決定の予行演習をしていただきます。



フェーズ -2. メディア特性のレクチャー用資料

充実の研修資料でメディア特性をよく理解した後に模擬記者会見に臨んでいただきます。

(1)日本のマスメディア

バラエティ溢れる日本のマスメディア。
新聞購読者数も、テレビ視聴時間も世界トップクラス。

新聞

- 全国紙 ●ブロック紙 ●地方紙 ●産業経済紙 ●スポーツ紙 ●タ刊紙
- 外国語紙 ●子供新聞 等

雑誌

- 総合誌 ●女性誌 ●ファッション誌 ●商品情報誌 ●ビジネス誌
- 生活情報誌 ●育児誌 ●タウン情報誌 ●趣味誌 ●コミック誌 etc.

テレビ

- キー局 ●地方局 ●BS局 ●CATV

ラジオ

- AM局 ●FM局

インターネット

- 媒体系サイト ●ニュースサイト ●SNS ●電子掲示板(BBS)

日本のマスメディア

重要な情報源。
インターネット。

何から選んでいるか?

「2008年度版報に關する世論調査(文化庁・2009年3月)」。3つまでの複数回答

取材視点

、事件・事故から
門部署に分かれて取材・記事製作。
目的、取材ポイントは大きく異なる。

紙)編集局の組織

```

graph TD
    編集局長 --- 編集局次長
    編集局長 --- 編集局次長
    編集局長 --- 編集局次長
    編集局長 --- 編集局次長
    編集局長 --- 編集局次長
    編集局長 --- 編集局次長
    
```

Copyright (C) NEC Corporation/NEC BIGLOBE, Ltd. 2006

読売新聞編集局の部署

解説部、政治部、経済部、社会部、国際部、文化部、科学部、地方部、運動部、生活情報部、医療情報部、社会保険部、写真部

朝日新聞編集局の部署

政治グループ、経済グループ、社会グループ、外交・国際グループ、文化グループ、科学グループ、教育グループ、地域報道グループ、スポーツグループ、労働グループ、医療グループ、生活グループ、写真センター

特徴

●情報に敏感

●ジャーナリズムの意識が強い

●記者としての矜持が強い

●取材が重要という認識を持っている

●専門知識を持っているが、どの領域も深い知識はない

3人

●記者としての矜持が強い

●取材が重要という認識を持っている

●専門知識を持っているが、どの領域も深い知識はない

4 情報ガマン

—あらゆる情報に貪欲。何でも知りたいという意欲が強い勉強家。

5 使命感に燃える情熱家

—読者、国民、社会を啓蒙しよう、社会悪を糾弾しようという使命感。

取材内容はメディアによって編集される。

↓

報道内容は企業の思うようにならないのが普通。

過去の実報道も題材にした50ページほどの資料から、研修の諸条件に応じて資料を抜粋しわかりやすくご説明します。

フェーズ -3. 模擬記者会見 の仕様と臨場感

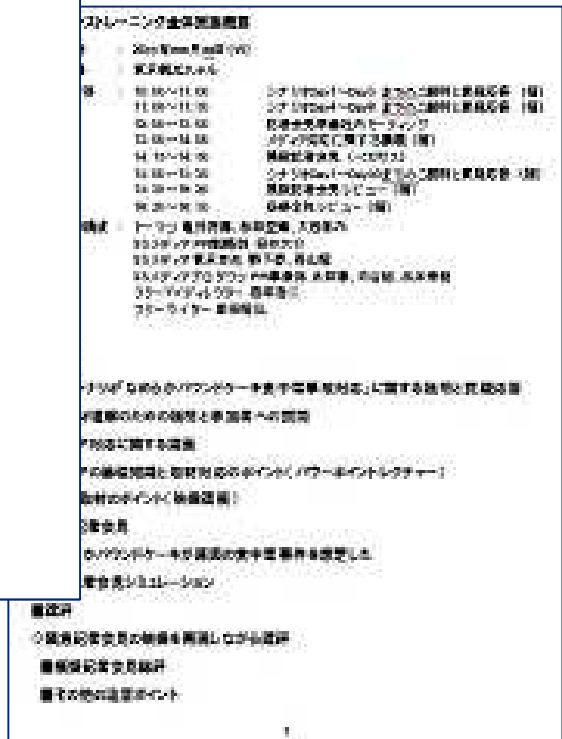
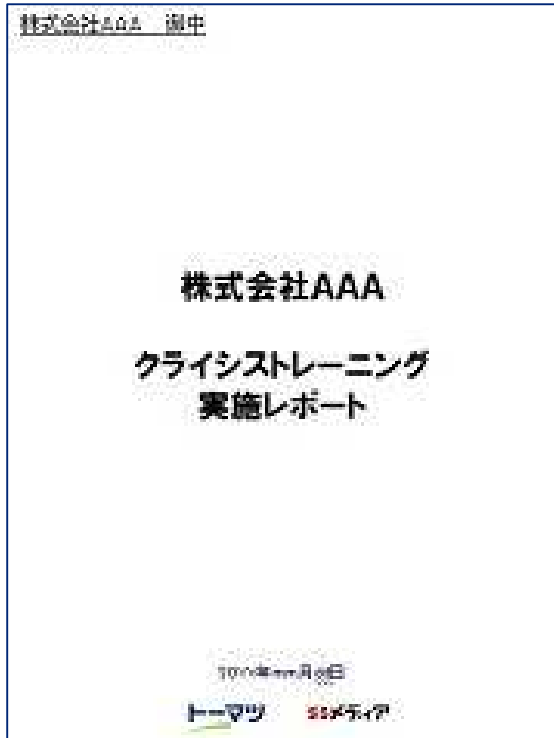
作成したシナリオを基に、報道機関の関係者やOBによる本番さながらの記者会見を実施します。

仕様	内容	
形式	メディア対応に関する講義を行った後、不祥事を想定した模擬記者会見を実施。	
メンバー 役割	<ul style="list-style-type: none"> ・会見者：社長（同席者を置く場合：専務） ・司会：広報担当役員 等 	
	全体想定所要時間	2.5時間
実施内容 所要時間	・研修の進め方説明	10分
	・講義（メディア対応の基本、取材対応のポイント等）	50分
	・模擬記者会見の実施	45分
	・休憩	15分
	・レビュー、指導	30分
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・メイン講師 ・TVカメラマン ・記者 	<ul style="list-style-type: none"> ・補佐 ・スチルカメラマン ・エキストラ
オプション	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬記者会見の規模の拡大（会見の体験者、会見回数、記者の追加等） ・模擬個別インタビュー（TV報道系、TV情報番組系、新聞個別取材、雑誌個別取材、電話による取材など） ・イメージコンサルティング（スタイリング、メイク、立ち振る舞い等） ・広報マニュアル作成支援 	



フェーズ -1. レポート

危機管理プロセスとメディア対応の双方の改善点を具体的に示したレポートが得られます。

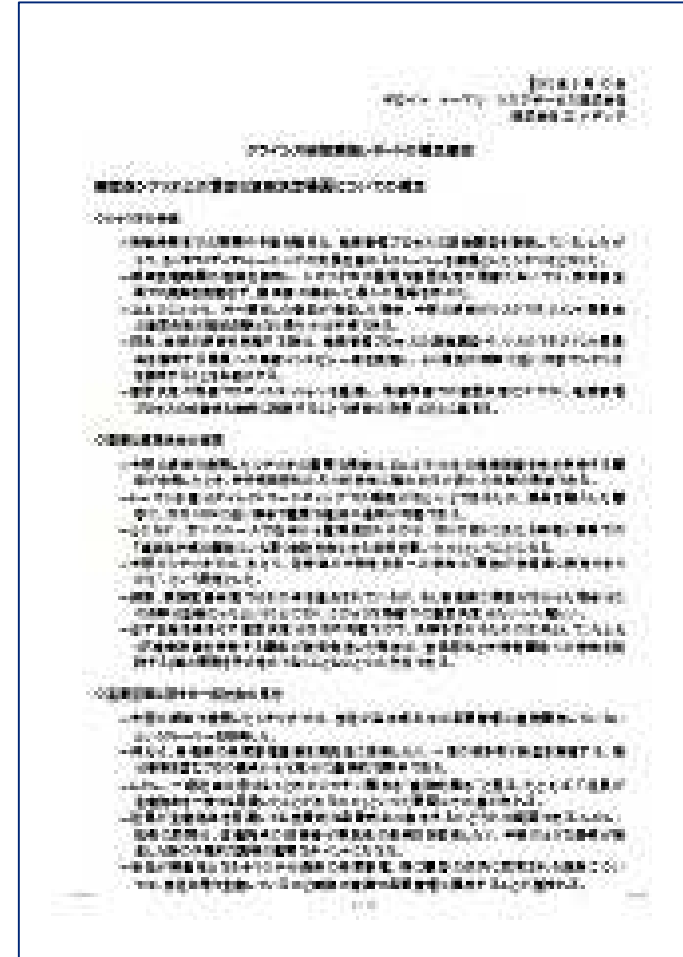


プロセス	現状	
危機レベルの基準	自然災害系の脅威についてのみ定義済み	
危機レベルの判断	危機管理委員会の開催後からは明確、それ以前は不明確	
...	...	
告知雛形		
Web掲載		
...	...	
...	...	
事業停止	出荷停止連絡	緊急連絡簿は最新化されているが、伝達チャンネルがまちまち
	回収	× 緊急回収時の要員確保に不安、保管場所の指定がない

全体	基本方針・規程	経営資源の優先順位の明記、通常業務を休止し対応の明記がない
	情報収集書式	× 所定の書式がない

フェーズ -2. 想定記事

研修当日の記者会見を基にした想定新聞記事と模擬記者会見のレビューを得られます。



価格表

基本サービスであってもご要望に合わせてお見積りいたします。

基本サービス	作業内容	成果物	期間・時間	価格(税別)
シナリオ作成	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理プロセスの調査 資料閲覧と打合せ(計3回) 関係者インタビュー(計1回) 	危機管理プロセスの改善点	約1ヶ月	500万円
	<ul style="list-style-type: none"> シナリオの作成 弊社の素案作成 お客様事務局との調整 	シナリオ		
シミュレーション	<ul style="list-style-type: none"> お客様の危機管理委員会メンバーによるグループディスカッション シナリオに討議ポイントを設けての意思決定演習 意思決定のレビュー 	-	約2.5時間	
メディアトレーニング	<ul style="list-style-type: none"> メディア特性のレクチャー 模擬記者会見 スタッフ:メイン講師/補佐/TVカメラマン/スチルカメラマン/記者役/エキストラ 	-	約2.5時間 シミュレーション と同日実施	
レポート	<ul style="list-style-type: none"> クライシストレーニング実施報告書の作成 危機管理プロセスの改善点 メディア対応の改善点 想定記事の作成 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 想定記事 	約2週間	

追加サービス	作業内容	成果物	期間・時間	価格(税別)
オプション	<ul style="list-style-type: none"> シミュレーションとメディアトレーニングの別日付実施 模擬記者会見の規模の拡大(会見の体験者、会見回数、記者の追加等) 模擬個別インタビュー(TV報道系、TV情報番組系、新聞個別取材、雑誌個別取材、電話による取材など) イメージコンサルティング(スタイリング、メイク、立居振舞等) 広報マニュアル作成支援 	オプションの仕様に応じてご相談させていただきます。		別途 お見積り

Deloitte. トーマツ.

トーマツグループは日本におけるデロイトトウシュートーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファーム各社(有限責任監査法人トーマツおよび税理士法人トーマツ、ならびにそれぞれの関係会社)の総称です。

トーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各社がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー サービス等を提供しております。また、国内約40都市に約7,000名の専門家(公認会計士、税理士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はトーマツグループWebサイト(www.tohmatsu.com)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、デロイトトウシュートーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)およびそのネットワーク組織を構成するメンバーファームのひとつあるいは複数指します。デロイトトウシュートーマツ リミテッドおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。その法的な構成についての詳細はwww.tohmatsu.com/deloitte/をご覧ください。

有限責任監査法人トーマツ 東京事務所 エンタープライズ リスク サービスは、2006年2月8日、監査法人として初めて情報セキュリティマネジメントの国際規格であるISO/IEC27001の認証を取得しました。また、2009年4月1日には、デロイトトーマツ リスクサービス株式会社が、認証範囲に追加されました。



IS 501214 / ISO (JIS Q) 27001